

日本コーポレートガバナンス研究会 (JCGR)
談論シリーズ「サロン・ド・丸ノ内」のご案内

ウェビナー「変化するガバナンスコードの位置づけ」

講師：三井 千絵 氏 株式会社野村総合研究所 上級研究員

JCGR はコーポレートガバナンスの実務担当者およびコーポレートガバナンスに関心をお持ちの方々を主な対象とする「サロン・ド・丸ノ内」を開催します。第一線の実務家や研究者などにより提起された最新のテーマにつき談論風発していただくと共に、業務にフィードバックしていただきます。コーポレートガバナンスおよび経営の問題を中心として、広く経済問題、社会・文化問題、国際問題等々も取り上げます。

新型コロナウイルス感染症による災厄下、移動や接触は自粛しなければなりません。しかし知的活動まで自粛することは百害あって一利無しです。そこで今回、サロン・ド・丸ノ内をオンラインにて開催いたします。皆さまにおける知の活動への心ばかりの支援として、また私たち JCGR の果たすべき社会的責任として、しばらくは無料で実施いたします。

- ◆ここ数年コーポレートガバナンスの向上の目的は変化してきています。英国では直近の改訂で、株主重視からステークホルダー重視、ESG 重視の色合いが強まっていますが、これは EU やアジア各国でもみられます。
- ◆ガバナンス向上の実現における投資家の役割が強められ、過度とも言えるほどの要求が高まっています。そもそもその運用資産は誰に所属するのか、最近の傾向と今後の課題を考えてみたいと思います。
- ◆そこで今回は CG および ESG のグローバル動向を研究している野村総合研究所の三井様をお迎えし、現状と今後の課題を議論します。

【開催日時】

2020年7月17日(金)、16:00~17:30(講演40分、フリーディスカッション50分)

【開催方法】

インターネット (ZOOM) によるウェビナー形式

【定員・受講料】

20名(先着順)、無料

【お問い合わせ】

日本コーポレートガバナンス研究所 藤島

(メールアドレス) fujishima@jcgr.org

(ウェブサイト) <https://jcgr.org/>